

「共に学び、共に育つ教育」の充実に向けた 授業づくりに関する研究

一 小学校通常の学級と特別支援学級における
体育及びパラリンピックスポーツの体験を通して一

《補助資料目次》

【資料1】全教員向け調査用紙	1
【資料2】全教員向け調査結果	3
【資料3】特別な支援を必要とするA児に関する調査用紙	5
【資料4】特別な支援を必要とするA児に関する調査結果	7
【資料5】体育・自立活動シート	9
【資料6】児童向け調査用紙	10
【資料7】児童向け調査結果	11
【資料8】実践1に係る調査用紙（職員）	12
【資料9】実践2の展開案（第1～3時、第5～6時）	13
【資料10】実践2のワークシート	19
【資料11】実践2の授業の形成的評価票（児童）	21
【資料12】実践2の授業の形成的評価結果（児童）	22
【資料13】実践2に係る調査用紙（職員）	27

令和3年2月10日
岩手県立総合教育センター
教育支援相談担当
阿部真弓
平浩一

【資料1】全教員向け調査用紙

令和2年7月27日

学年		学級	通常・特支（知・情・肢体）	氏名	
----	--	----	---------------	----	--

以下の1、2の質問について、該当する記号（ア、イ、ウ、…）に○をつけてください。

- 1 教員になってから通常の学級の児童と特別支援学級の児童が共に学ぶ授業を、受け持ったことがありますか。

ア 現在、受け持っている イ 以前、受け持っていた ウ 受け持ったことはない

↓
2へ

→ 3へ（裏面）

- 2 1で、ア、イと答えた方にお尋ねします。

- (1) -① その授業は、障がいのない児童にとって、障がいのある児童を理解し、共に学び共に育つことのできる学習の場になっていますか（いましたか）。

- ア 完全に当てはまる
イ かなり当てはまる
ウ どちらかという当てはまる
エ どちらかという当てはまらない
オ かなり当てはまらない
カ 全く当てはまらない

- (1) -② ①の理由をお書きください。

- (2) -① その授業は、障害のある児童にとって、教科のねらいが達成され、自己肯定感を持ちながら取り組むことのできる学習の場になっていますか（なっていましたか）。

- ア 完全に当てはまる
イ かなり当てはまる
ウ どちらかという当てはまる
エ どちらかという当てはまらない
オ かなり当てはまらない
カ 全く当てはまらない

- (2) -② ①の理由をお書きください。

（裏面もご記入ください）

3 「障がいのある児童とない児童が、共に学ぶこと」に関して、学校生活全般を通じた貴校の児童の様子についてお尋ねします。当てはまるものに ○ をお書きください。

		完全に 当てはま る	かなり 当てはま る	どちらか という 当てはま る	どちらか という 当てはま らない	かなり 当てはま らない	全く 当てはま らない
1	自分の良さや可能性に気づいている						
2	自分の良さや可能性を発揮している						
3	他者の良さや可能性に気づいている						
4	様々な考え方や感じ方があることに気づいている						
5	様々な考え方や感じ方があることを受け入れている						
6	様々な問題に対して、一緒に課題の解決方法を考えている						
7	決められたことに対して、協力して取り組んでいる						
8	目標を持って、学習に取り組んでいる						

4 「障がいのある児童とない児童が、共に学ぶこと」に関して、学校生活全般を通して先生方が感じている課題についてお尋ねします。当てはまるものに ○ をお書きください。

		完全に 当てはま る	かなり 当てはま る	どちらか という 当てはま る	どちらか という 当てはま らない	かなり 当てはま らない	全く 当てはま らない
1	児童の困難さに対する理解に課題がある						
2	児童の困難さに対する手だてに課題がある						
3	通常の学級と特別支援学級の教員の情報共有に課題がある						
4	困難さを抱える児童の、その時間の学習の目標の明確化に課題がある						
5	通常の学級における環境整備に課題がある						
6	通常の学級における障がい理解教育に課題がある						
7	その他（自由にお書きください）						

ご協力ありがとうございました。

【資料2】全教員向け調査（回答数 30）

1 教員になってから通常の学級の児童と特別支援学級の児童が共に学ぶ授業を、受け持ったことがありますか。

ア 現在、受け持っている	イ 以前、受け持っていた	ウ 受け持ったことはない	未回答
8	11	10	1

2 1で、ア、イと答えた方にお尋ねします。

① その授業は、障がいのない児童にとって、障がいのある児童を理解し、共に学び共に育つことのできる学習の場になっていますか（いましたか）。 (n=19)

	回答数(人)	その理由(自由記述)
ア 完全に当てはまる	1	・長い時間が必要だったが、ようやく互いの存在を認め合えるようになった
イ かなり当てはまる	6	・障がいの状況を理解し、どのような手助けをすればみんなと一緒に活動できるか、考えられる児童が増えたから。 ・ユニバーサルデザイン教育を重視した教育課程と学習指導を意識して取り組んでいるから。 ・障がいのある児童に配慮し、共に勉強しようという姿が見られるから ・相互理解のもと、教え合ったり対話したりする場を大切にしているから。 ・お互いを尊重し合い、理解しながら学習に臨んでいる場面が見られるから。
ウ どちらかという当てはまる	11	・学活や道徳的な授業の際に「障がい」がテーマになっていたから。 ・自分なりに、どの子も参加したり、活動したりできる手立てを考えて授業をしていたが、それが当てはまるかどうかはわからない。 ・障がいのある児童の理解にはつながるが、学習面での向上につながったかは疑問がある。 ・特支学級児童（知）と他の児童の学習内容（ゴール）が異なっていたため、それは全員が理解していた。しかし、共に育つという点では不十分だったかもしれない。 ・障がいのある児童と接することで、接し方や考え方を学ぶことができた。また障がい理解につながった。 ・誰にでも得意不得意があることや、その中でできることを精一杯頑張ることが大切であると伝え、そのことを自分と照らし合わせて「確かに、そうだな」と感じて理解できるようになっているが、それでも予想外の言動に触れた時に偏見を持ちそうになっている様子が見られる。通常の学級で授業を受ける時にどんなサポートが必要か、しっかり考える必要がある。 ・障がいを特別なこと、自分たちは全く関係のないことと思うのではなく、人は皆それぞれ個性（得意不得意）があるという考え方で支え合うことを意識して学習していた。年度初めに学級での話し、その後も問題が起こった時は学級で話し合うことを大切にした。友達同士でできたことや良いところを認めることができるようなレクや授業を行った時もあった。 ・低学年のころから接しており、児童の方が理解しているほどであった下地があったので、環境的には問題はなかったように思う。 ・理科の交流学习において、グループでの学び合いを定期的に取り入れてきた。協力して学習に取り組み、教え合う姿が見られていたため。 ・通常学級の児童が支援学級の児童を教える場面を見ているから。 ・障がいのある児童の特性を、通常学級の児童も理解しており、一緒に授業を受ける際にも思いやって授業に取り組んでくれていた。
エ どちらかという当てはまらない	1	・教室にサポートの先生が入って学習していたが、別メニューで授業をしていた（一緒にできる学習は同じ授業をしていた。）別メニューでの授業をしていることは理解できていたと思う。
オ かなり当てはまらない	0	
カ 全く当てはまらない	0	

② その授業は、障害のある児童にとって、教科のねらいが達成され、自己肯定感をもちながら取り組むことのできる学習の場になっていますか（なっていましたか）。 (n=19)

	回答数(人)	その理由(自由記述)
ア 完全に当てはまる	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ できることできないことで判断しない雰囲気、ようやく生まれてきた。みんな違うことが当たり前であるといった気持ちで学習に望んでいる。
イ かなり当てはまる	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図工など限られた教科であったが、個別に指導することができたから。
ウ どちらかという当てはまる	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己肯定感をもって取り組んではいたが、ねらいを十分に達成できていたかどうかは不明。 ・ 個性を意識する内容であったから。 ・ スモールステップでのねらいは達成できるように取り組み、児童も頑張れたことを認め合うような場面を設定したが、1単位時間あるいは教科のねらいという点からすると十分ではなかったかもしれないと思う。 ・ 自分のゴールを理解しそれを目標に頑張ることができていたため。 ・ 児童の実態に限りなく寄り添った支援を取り入れているが、学力保障の点において弱い部分がある。 ・ 意欲的に取り組めてはいるが、自己肯定感をもっているかが具体的に見えないため。 ・ 積極的に取り組むことができていたため。 ・ 特に高学年においては、実験を行う場合に協力し合うことで、教科のねらいが達成され自己肯定感をもつことにつながるから。
エ どちらかという当てはまらない	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にねらいとしての知識技能を十分に身につけさせることができない授業があったため。 ・ その子の特性や重さ、教科等によると思う。支援する人なしに担任一人の学級に来た場合、十分なサポートができずにねらいが達成できないことも実際ある。ただみんなと一緒に学ぶことで一人では気付かないことや学びを体感したり、自分の役割を感じたりすることで、自己肯定感が高まった様子を感じたこともあった。 ・ 学習の中で理解が十分にできていない時、なかなか個別に支援することができない時もあったため。 ・ 交流学习をしている教科が児童の実態に合っていないと思うから。 ・ 「自己肯定感をもち」というところまではいかなかった。通常の学級の児童のペースの中で出来るところまで学習するという感じであったため。 ・ 個別のメニューの時はねらいが達成できていたと思うが、全体の授業ではどうだったかという微妙（その子の支援が十分だったかということも含めて）。
オ かなり当てはまらない	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の児童と同じことをしているという点での自己肯定感をもてたかもしれないが、評価のねらいを達成しているとは言えない。 ・ 学習より通常学級との交流を目的としていたため、教科のねらいの達成に重点を置いていなかった（保護者の意向）。
カ 全く当てはまらない	0	

※問3、4は本資料参照

氏名 _____

Aさんの様子についてお尋ねします。

1 普段の生活の中で、運動に意欲的に取り組んでいるように見えますか。

ア そう思う イ どちらかといえばそう思う ウ どちらかといえばそう思わない エ そう思わない

2 体育の学習場面で、運動に意欲的に取り組んでいるように見えますか。

ア そう思う イ どちらかといえばそう思う ウ どちらかといえばそう思わない エ そう思わない

3 2について、そのように見える場面を具体的に挙げてください。

4 普段の生活の中で、友達との活動に意欲的に取り組んでいるように見えますか。

ア そう思う イ どちらかといえばそう思う ウ どちらかといえばそう思わない エ そう思わない

5 体育の学習場面で、友達との活動に意欲的に取り組んでいるように見えますか。

ア そう思う イ どちらかといえばそう思う ウ どちらかといえばそう思わない エ そう思わない

6 5について、そのように見える場面を具体的に挙げてください

7 自分の困難さを理解しているように見えますか。

ア そう思う イ どちらかといえばそう思う ウ どちらかといえばそう思わない エ そう思わない

8 7について、そのように見える場面を具体的に挙げてください。

9 体育の学習場面において、自分にあった「めあて」をもつことができているように見えますか。

ア 学習資料等を活用し、発展させてける イ 学習資料等があればできる
ウ 友だちの協力があればできる エ 教員の指導があればできる
オ 教員の指導があっても難しい

10 体育の学習場面において、めあてを達成するための運動の工夫や練習ができているように見えますか。

- ア 学習資料等を活用し、発展させてける イ 学習資料等があればできる
 ウ 友だちの協力があればできる エ 教員の指導があればできる
 オ 教員の指導があっても難しい

11 体育の学習場面において、協力や教え合いができているように見えますか。

- ア 学習資料等を活用し、発展させてける イ 学習資料等があればできる
 ウ 友だちの協力があればできる エ 教員の指導があればできる
 オ 教員の指導があっても難しい

12 体育への参加状況をお答えください。

領域	参加方法	困難さ	具体的な支援
A 体づくり運動	<input type="checkbox"/> 全部参加 <input type="checkbox"/> 一部参加 <input type="checkbox"/> 参加しない	<input type="checkbox"/> あり → <input type="checkbox"/> なし	
B 器械運動	<input type="checkbox"/> 全部参加 <input type="checkbox"/> 一部参加 <input type="checkbox"/> 参加しない	<input type="checkbox"/> あり → <input type="checkbox"/> なし	
C 陸上運動	<input type="checkbox"/> 全部参加 <input type="checkbox"/> 一部参加 <input type="checkbox"/> 参加しない	<input type="checkbox"/> あり → <input type="checkbox"/> なし	
D 水泳	<input type="checkbox"/> 全部参加 <input type="checkbox"/> 一部参加 <input type="checkbox"/> 参加しない	<input type="checkbox"/> あり → <input type="checkbox"/> なし	
E 球技	<input type="checkbox"/> 全部参加 <input type="checkbox"/> 一部参加 <input type="checkbox"/> 参加しない	<input type="checkbox"/> あり → <input type="checkbox"/> なし	
F 表現運動	<input type="checkbox"/> 全部参加 <input type="checkbox"/> 一部参加 <input type="checkbox"/> 参加しない	<input type="checkbox"/> あり → <input type="checkbox"/> なし	

9 体育の学習場面において、課題となっていることはなんですか。

ご協力ありがとうございました

【資料4】特別な支援を必要とするA児に関する調査（回答数4）

1 普段の生活の中で、運動に意欲的に取り組んでいるように見えますか。

ア そう思う	イ どちらかといえば そう思う	ウ どちらかといえば そう思わない	エ そう思わない
2	1	1	0

2 体育の学習場面で、運動に意欲的に取り組んでいるように見えますか。

ア そう思う	イ どちらかとい えばそう思う	ウ どちらかとい えばそう思わな い	エ そう思わない	わからない
0	2	1	0	1

3 2について、そのように見える場面を具体的に挙げてください。

- ・体育の授業を楽しみにしており、みんなと同じように運動しようとしている。
- ・個人目標にはある程度の努力は見られるが、チーム戦等において周りの児童に任せ、傍観しようとすることが多い。

4 普段の生活の中で、友達との活動に意欲的に取り組んでいるように見えますか。

ア そう思う	イ どちらかとい えばそう思う	ウ どちらかとい えばそう思わない	エ そう思わない
1	1	2	0

5 体育の学習場面で、友達との活動に意欲的に取り組んでいるように見えますか。

ア そう思う	イ どちらか とい えばそ う思う	ウ どちらか とい えばそ う思わ ない	エ そう思わ ない	わからない	未回答
0	2	0	0	1	1

6 5について、そのように見える場面を具体的に挙げてください。

- ・友だちに誘われたり、助けられたりしながら楽しそうに取り組む姿が見られた。
- ・ティールールのチームの中での役割を果たし、ゲームに勝つことができた。

7 自分の困難さを理解しているように見えますか。

ア そう思う	イ どちらかとい えばそう思う	ウ どちらかとい えばそう思わ ない	エ そう思わ ない
0	2	2	0

8 7について、そのように見える場面を具体的に挙げてください。

- ・自分でできないと思うものはやらない。
- ・跳運動では、自分でできる範囲で取り組もうとしている。
- ・装具のことやしていいこと、ダメなことなど、日常の中でいろいろな話をしてくれるから。

9 体育の学習場面において、自分にあった「めあて」をもつことができているように見えますか。

ア 学習資料 等を活用し 発展させて できる	イ 学習資料 等があれば できる	ウ 友だちの 協力があ ればできる	エ 教員の指 導があれば できる	オ 教員の指 導があつて も難しい	わからない
0	1	0	2	0	1

10 体育の学習場面において、めあてを達成するための運動の工夫や練習ができていているように見えますか。

ア 学習資料等を活用し発展させて できる	イ 学習資料等があれば できる	ウ 友だちの協力があれば できる	エ 教員の指導があれば できる	オ 教員の指導があっても 難しい	わからない
0	0	0	3	0	1

11 体育の学習場面において、協力や教え合いができていているように見えますか。

ア 学習資料等を活用し発展させて できる	イ 学習資料等があれば できる	ウ 友だちの協力があれば できる	エ 教員の指導があれば できる	オ 教員の指導があっても 難しい	わからない
0	0	3	0	0	1

12 体育への参加状況をお答えください。

領域	参加方法		困難さ	具体的な支援
A 体づくり運動	<input checked="" type="checkbox"/> 全部参加 <input type="checkbox"/> 一部参加 <input type="checkbox"/> 参加しない	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		
B 器械運動	<input type="checkbox"/> 全部参加 <input checked="" type="checkbox"/> 一部参加 <input type="checkbox"/> 参加しない	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・跳運動が難しい	
C 陸上運動	<input type="checkbox"/> 全部参加 <input checked="" type="checkbox"/> 一部参加 <input type="checkbox"/> 参加しない	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・跳運動が難しい ・ハードル、高跳びなど、強く着地することによる装具の破損の懸念	・見て、動きを学ぶこととする
D 水泳	<input type="checkbox"/> 全部参加 <input checked="" type="checkbox"/> 一部参加 <input type="checkbox"/> 参加しない	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・バタ足は難しい ・経験不足のためか、顔を水につけることができない	・平泳ぎのような形で泳いでいる
E 球技	<input checked="" type="checkbox"/> 全部参加 <input type="checkbox"/> 一部参加 <input type="checkbox"/> 参加しない	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・友だちとぶつかって転倒しないように注意する必要がある	・担任が見ていて、声をかける
F 表現運動	<input checked="" type="checkbox"/> 全部参加 <input type="checkbox"/> 一部参加 <input type="checkbox"/> 参加しない	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		

9 体育の学習場面において、課題となっていることはなんですか

- ・学習内容や負荷を児童に合わせているが、どの程度まで切るのか、できるようになれば良いかが明確ではない。
- ・チームでゲームをする際、本人の気後れ、周りの児童の気遣い、楽しめるような雰囲気作り。

【資料5】体育・自立活動シート

記載日 年 月 日
氏名 _____

【自立活動の目標】

長期	
短期 (学期)	

【運動に対する興味・関心の状況】

運動することは	意欲的・意欲的ではない・どちらともいえない	好きな活動・運動	
友達と活動することは	意欲的・意欲的ではない・どちらともいえない		
◇自分にあつた「めあて」を正しくもつことができているか			
◇めあてを達成するための運動の工夫や練習ができているか			
◇協力や教え合いができているか			
◇学習の様子			

【体育(運動領域)で配慮すべきこと等】

--

【体育(運動領域)への参加状況】

領域	参加方法	困難さ	具体的な支援
A 体づくりの運動系			
B 器械運動系			
C 陸上運動系			
D 水泳運動系			
E ボール運動系			
F 表現運動系			

【領域 ○○ について】

○○に対して	意欲的 ・ 意欲的ではない ・ どちらともいえない
○○に対して本人の願い	
○○(この単元)の目標	
○○(この単元)の評価	

自立活動(6区分27項目)

1 健康の保持	(1)	生活リズムや生活習慣の形成
	(2)	病気の状態の理解と生活管理
	(3)	身体各部位の状態と養護
	(4)	障害の特性の理解と生活環境の調整
	(5)	健康状態の維持・改善
2 心理的安定	(1)	情緒の安定
	(2)	状況の理解と変化への対応
	(3)	学習上または生活上の困難の改善・克服
3 人間関係の形成	(1)	他者とのかかわりの基礎
	(2)	他者の意図や感情の理解
	(3)	自己の理解と行動の調整
	(4)	集団参加への参加の基礎
4 環境の把握	(1)	保有する感覚の活用
	(2)	感覚や認知特性への対応
	(3)	感覚の補助及び代行手段の活用
	(4)	周囲の状況の把握と状況に応じた行動
	(5)	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成
5 身体の動き	(1)	姿勢と運動・動作の基本的技能
	(2)	姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用
	(3)	日常生活に必要な基本動作
	(4)	身体の移動能力
	(5)	作業に必要な動作と円滑な遂行
6 コミュニケーション	(1)	コミュニケーションの基礎的能力
	(2)	言語の受容と表出
	(3)	言語の形成と活用
	(4)	コミュニケーション手段の選択と活用
	(5)	状況に応じたコミュニケーション

○ ^{たいいく がくしゅう い} 体育の学 ^{かんが かんが} 習に生かしますので、みなさんの考 ^か えを書 ^か いてください。

1 「パラリンピック」という言葉 ^{ことば き} を聞いたことがありますか。当てはまる方に○を書 ^{あ ほう か} いてください。

ア ある イ ない

2 「パラリンピック」の競技 ^{きょうぎ み} を見たことがありますか。当てはまる方に○を書 ^{あ ほう か} いてください。

ア ある イ ない
↓ ↓
3へ 4へ

3 「パラリンピック」の競技 ^{きょうぎ み} を見て、どう思 ^{おも} いましたか。

4 ^{きかい} 機会があれば、「パラリンピック」の競技 ^{きょうぎ み} を見たいと思 ^{おも} いますか。当てはまる方に○を書 ^{あ ほう か} いてください。

ア 思う イ どちらかといえば思う ウ どちらかといえば思わない エ 思わない

5 パラリンピックの競技 ^{きょうぎ たいけん} を体験 ^{あ ほう か} したことがありますか。当てはまる方に○を書 ^{あ ほう か} いてください。

ア ある イ ない
↓ ↓
6へ 7へ

6 ^{たいけん} 体験 ^{きょうぎ か} したことがある競技 ^か を書 ^か いてください。

7 ^{きょうぎ たいけん} 機会があれば、「パラリンピック」の競技 ^か を体験 ^{あ ほう か} したいと思 ^{おも} いますか。当てはまる方に○を書 ^{あ ほう か} いてください。

ア 思う イ どちらかといえば思う ウ どちらかといえば思わない エ 思わない

ありがとうございました

【資料7】児童向け調査結果（回答数 76）

1 「パラリンピック」という言葉を聞いたことがありますか。

ある	ない
74	2

2 「パラリンピック」の競技を見たことがありますか。

ある	ない
25	51

3 「パラリンピック」の競技を見て、どう思いましたか。

<ul style="list-style-type: none"> ・ スキーで滑りやすいのに、なめらかに動いているところがすごいと思う。 ・ 障がいがあるのに、すごいと思った。 ・ 障がいがある人もやっていて、すごいと思った。 ・ 体が違うのに、動けるのがすごいです。 ・ 体が不自由な人が、一生懸命走ったり、車いすに乗りながら 100M 走をしたりしてすごいと思った。 ・ 障がいをもっているのに、進んで色々な競技をやっているから、目標があつていいと思った。 ・ 車いすバスケットで、普通にやっている人と同じくらいの熱気ですごいと思った。 ・ 障がいがあつても、あきらめないうで金メダルを取った人はすごいと思う。 ・ やり方が違うと思った。 ・ 障がいがある人もがんばっていたことがすごいと思った。 ・ みんなあきらめないうですごいと思った。 ・ みんなすごいと思った。 ・ すごいと思った。 ・ 不自由でも、障がいのない人と同じようにがんばっていてすごいと思った。 ・ 車いすであんなに早く移動したり、バスケットをしたりしていたのがすごいと思った。 ・ 足などが不自由でも、普通の人と同じようにスポーツをしていてすごいと思った。 ・ 普通に歩けるとかではないから、大変そうだった。 ・ 障がい者だけれども、体を張ってがんばっているなと思った。 ・ すごくがんばっていて元気をもらった。私もがんばろうと思った。母に感謝した。 ・ 障がい者でもオリンピックのように大会をしていてすごいと思った。 ・ 車いすなのにバスケットができていて、すごいと思った。 ・ がんばっていて、すごいと思った。 ・ すごいなと思う。難しそうだなと思った。
--

4 機会があれば、「パラリンピック」の競技を見たいと思いますか。

ア 思う	イ どちらかとい えば思う	ウ どちらかとい えば思わない	エ 思わない	未回答
29	27	8	3	9

5 パラリンピックの競技を体験したことがありますか。

ある	ない
5	71

6 体験したことのある競技を書いてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ ボッチャ 3 ・ 車いすバスケットボール 1 ・ シットティングバレーボール 1
--

7 機会があれば、「パラリンピック」の競技を体験したいと思いますか。

ア 思う	イ どちらかとい えば思う	ウ どちらかとい えば思わない	エ 思わない	未回答
39	20	11	4	2

【資料8】実践1に関する調査（教員）用紙

令和2年9月8、9、10日

学年		学級	通常・特支（知・情・肢体）	氏名	
----	--	----	---------------	----	--

1 本時の児童の様子についてお聞きします。以下の点についてどのように感じましたか。
当てはまるものに ○ をお書きください。

		完全に 当てはま る	かなり 当てはま る	どちらか という 当てはま る	どちらか という 当てはま らない	かなり 当てはま らない	全く 当てはま らない
1	自分の良さや可能性に気づいている						
2	自分の良さや可能性を発揮している						
3	他者の良さや可能性に気づいている						
4	様々な考え方や感じ方があることに気づいている						
5	様々な考え方や感じ方があることを受け入れている						
6	様々な問題に対して、一緒に課題の解決方法を考 えている						
7	決められたことに対して、協力して取り組んでい る						
8	目標を持って、学習に取り組んでいる						

2 授業参観をして気づいたこと、感じたことなどを自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

【資料9】実践2の展開案

第1時（1／6時間）

（1）目標

- ・ソフトバレーボールの行い方について、言ったり書いたりすることができる。

（2）展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点（◇評価）		準備物
		基礎的環境整備	合理的配慮	
導入 10分	1 あいさつ	○ソフトバレーボールをやってみよう。		<ul style="list-style-type: none"> ・支柱 ・ネット ・ボール
	2 オリエンテーション ・必要な準備物を知る。 ・基本的なルールを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・支柱やネットなどを準備する必要があり、次時からはみんなで準備をすることを知らせる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスは、自陣コート中央付近から下投げで投げ入れる。 ・3回で相手に返球する。 ・相手コートにボールを返球できなかった時は相手に1点入る。 ・得点できなかったチームがサービスをする。 ・チーム内で守備の場所をローテーションし、サービスもチーム内で順番を決めて打つ。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・全6時間の流れを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームは3人で構成し、全員ボールに触ったら相手コートに返球するルールとすることを知らせる。 ・全6時間の学習の流れを説明し、見通しを持って取り組むことができるようにする。 		
展開 21分	3 試しのゲーム ・チームで対戦する（1ゲーム7分）	<ul style="list-style-type: none"> ・パスをつなぐために必要な動きがあることや、相手がボールを受けやすいようにする必要があることに気づくことができるように声掛けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の児童ぶつかったり、転倒したりすることがないように見守り、必要に応じて声を掛ける。 	
終末 10分	4 振り返り ・ワークシートの記入（5分） ・話し合い（3分）	◇ソフトバレーボールの行い方について、言ったり書いたりしている。（ワークシート）		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・筆記用具 ・調査用紙
		<ul style="list-style-type: none"> ・実際にやってみて、楽しいと感じたこと、難しいと感じたことをチームで具体的に話し合うように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームでの話し合いに消極的な場面がみられた場合、同じチームの児童に声を掛け、同じチームの児童からAさんの発言を促してもらうように支援する。 	
	5 次時の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の動き（レシーブ、サービス）を練習することを伝える。 		
	6 あいさつ			

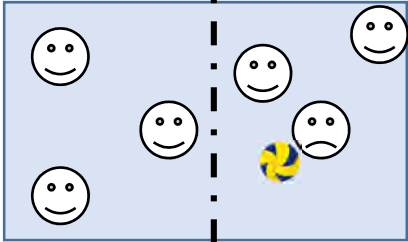
板書計画（第1時）

○ソフトバレーボールをやってみよう。

◆準備物

- ・しちゅう
- ・ネット

ネット



コート

◆基本のルール

○ソフトバレーボールをやってみよう。

◆準備物

- ・しちゅう
- ・ネット

<Aコート>

1 ゲーム 4班対4班

2 <Bコート>

1 ゲーム 4班対5班

2 <Cコート>

1 ゲーム 7班対8班

2 ゲーム 8班対9班

◆基本のルール

第2時（2／6時間）

（1）目標

- ・自陣のコート(中央付近)から相手のコートに向けサービスを打ち入れることができる。

（2）展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点（◇評価）		準備物
		基礎的環境整備	合理的配慮	
導入 10分	1 あいさつ 2 準備運動 ・体育リーダーの号令に合わせて、体を動かす。		※声がけにより以下の点を意識して準備運動ができるようにする。 ・アキレス腱を伸ばす動きでは前後に開いた足が平行になるようにする。 ・肩や首回しの動きでは、ゆっくり大きく動かすようにする（必要に応じて肩に手を置く等し、動きの個所をより意識できるようにする）。	・支柱 ・ネット ・ボール

段階	学 習 活 動	指導上の留意点 (◇評価)		準備物
		基礎的環境整備	合理的配慮	
展開 25 分	<p>パスを練習して、みんなでつなごう</p> <p>3 基本的なパスの練習 ①ペア練習 (15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーブスアンドキャッチ ・下から弾くパス ・上で弾くパス 	<ul style="list-style-type: none"> ・サーブスは下手で山なりになるように打つこと、またボールを受け取る位置を確認できるように師範する。 ・ボールの正面に入って受けることが意識できるように声掛けを行う。 ・下から弾くパスでは腕を大きく振らず、当てるイメージで行うことを伝える。 ・上で弾くパスでは、ペアの児童が行いやすい高さ考えて行うように声掛けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の児童ぶつかったり、転倒したりすることがないように見守り、必要に応じて声を掛ける。 ・サーブスを行う際は、下半身を安定させることや腕を大きく振るが必要であることを伝える。 ・(腕の動かし方にぎこちなさがあるため) 上で弾くパスでは、両腕を上にも伸ばし、肘を曲げたり伸ばしたりする動きを意識できるように声掛けを行う。 	
	<p>②チーム練習 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円陣パス 	<p>◇自陣のコート(中央付近)から相手のコートに向けサーブスを打ち入れることができる。(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1、2、3…」と声を掛けながらパスをつなぐように促す。 ・パスが繋がらない場合はキャッチさせても良いことを知らせ、相手が受けやすい位置にボールを弾くように伝える。 ・肯定的な雰囲気づくり (声掛け) を心掛け、楽しんで練習に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームと一緒に声を出すことで、一体感を高め、消極的にならずに練習に参加できるようにする。 ・低い位置のボールを受けることは難しいことが予想されるため、チーム内で弾きやすい位置にボールを上げることを意識できる声掛けを行う。 	
終末 10 分	<p>4 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日できるようになったこと、がんばったことを記入する。 ・次時に向けてのルールの話し合いをする。 ・発表 <p>5 次時の確認</p> <p>6 あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をとおして、自己の変容について気付かせる。 ・どのようにしたらパスが続いたのかをチームで振り返らせることで、どのようなルールがあったらよいか考えることができるようにする。 <p><例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の頭の上の辺りを狙うとよい ・キャッチできるとよい ・ボールの位置まで素早く移動することが難しい <ul style="list-style-type: none"> ・実際にゲームをすることを伝える。 ・今日考えたルール (工夫) をゲームに取り入れてみることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームでの話し合いに消極的な場面がみられた場合、同じチームの児童に声を掛け、同じチームの児童からAさんの発言を促してもらうように支援する。 	

第3時（3／6時間）

(1) 目標

- ・ゲームや練習に積極的に取り組もうとしている。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点（◇評価）		準備物
		基礎的環境整備	合理的配慮	
導入 12分	1 あいさつ 2 準備運動 ・体育リーダーの号令に合わせて、体を動かす。 3 チーム練習 ・円陣パス	<ul style="list-style-type: none"> ・「1、2、3…」と声を掛けながらパスをつなぐように促す。 ・パスがつながらない場合はキャッチしても良いことを知らせ、相手が受けやすい位置にボールをはじくように伝える。 ・肯定的な雰囲気づくり（声掛け）を心掛け、楽しんで練習に取り組むことができるようにする。 	合理的配慮 ※声がけにより以下の点を意識して準備運動ができるようにする。 ・アキレス腱を伸ばす動きでは前後に開いた足が平行になるようにする。 ・肩や首回しの動きでは、ゆっくり大きく動かすようにする（必要に応じて肩に手を置く等し、動きの個所をより意識できるようにする）。	<ul style="list-style-type: none"> ・支柱 ・ネット ・ボール
展開 23分	○仲間とパスをつないで、ゲームをしよう①			
	4 課題の確認 5 ゲーム ・1ゲーム7分、3ローテーションで行う。 ・友達の動きを録画する。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1時と第2時で出された課題やルールの工夫を基に、本時のルールを知らせる。 ・ゲームをしていない児童は、他のグループの動きを録画し、その中からよいと思う動きや工夫していると思うところを見つけるように促す。 ・サービスを打ち入れる位置を確認する。 ・サービスのタイミングが掴めない児童には、サーブを打つ際は「1、2の3」と掛け声をかけ、3のタイミングで打つように知らせる。 ・「1、2、3…」と声を掛けながらパスをつなぐように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを行う際の体の動かし方について確認する。 ・他の児童ぶつかったり、転倒したりすることがないように見守り、必要に応じて声を掛ける。 	
		◇ゲームや練習に積極的に取り組もうとしている。（観察）		
終末 10分	7 学習の振り返り ・がんばったこと、次の時間ががんばりたいことを発表する。 ・話し合い ・発表 8 次時の確認 9 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をとおして、自己の変容について気付かせる。 ・どのようにするとパスはつながりやすかったのかを話し合う中で、自分たちの動きを確認できるようにする。 ・友達の動きの工夫や良さで参考にできることがあれば、次の活動につなげるように声をかける。 ・チームで話し合い、ボールをつなげるために必要なルールについてまとめる。 ・発表した内容を基に、次時のルールを決めて本時と同じ流れで学習することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームでの話し合いに消極的な場面がみられた場合、同じチームの児童に声を掛け、同じチームの児童からAさんの発言を促してもらうように支援する。 	

※第4時は報告書に記載

第5時（5／6時間）

(1) 目標

- ・味方が受けやすいようにボールをつなぐことができる。
- ・キャッチなどのルールを選ぶことができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点（◇評価）		準備物
		基礎的環境整備	合理的配慮	
導入 10分	1 あいさつ 2 準備運動 ・体育リーダーの号令に合わせて、体を動かす。 3 チーム練習 ・円陣パス	・「1、2、3…」と声を掛けながらパスをつなぐように促す。 ・パスがつながらない場合はキャッチしても良いことを知らせ、相手が受けやすい位置にボールをはじくように伝える。 ・肯定的な雰囲気づくり（声掛け）を心掛け、楽しんで練習に取り組むことができるようにする。	※声がけにより以下の点を意識して準備運動ができるようにする。 ・アキレス腱を伸ばす動きでは前後に開いた足が平行になるようにする。 ・肩や首回しの動きでは、ゆっくり大きく動かすようにする（必要に応じて肩に手を置く等し、動きの個所をより意識できるようにする）。	・支柱 ・ネット ・ボール
展開 23分	○仲間とパスをつないで、ゲームをしよう③			・ワークシート ・筆記用具 ・タブレット
	4 課題の確認 ・ワークシートの記入 5 ゲーム ・1ゲーム6分、3ローテーションで行う。 ・友達の動きを録画する。	・今までの練習、ゲームからチーム必要だと考えるルールやマナーを記入するように伝える ◇キャッチなどのルールを選ぶことができる。（ワークシート） ・ゲームをしていない児童は、他のグループの動きを録画し、よいと思う動きや工夫していると思うところを見つけるように促す。 ・サービスを打ち入れる位置を確認する。 ・「1、2、3…」と声を掛けながらパスをつなぐように促す。 ・相手が受けやすいボールを意識して、パスをつなぐように声がけを行う。	・他の児童ぶつかったり、転倒したりすることがないように見守り、必要に応じて声を掛ける。 ・サービスを行う際の体の動かし方について確認する。	
終末 12分	6 学習の振り返り ・ワークシートの記入 ・話し合い ・発表 7 次時の確認 8 あいさつ	・がんばったこと、新しくできたようになったこと、次がんばりたいことなどを記入するように伝える。 ・どのようにするとパスはつながりやすかったのかを話し合う中で、自分たちの動きを確認できるようにする。 ・チームで話し合い、ボールをつなげるために必要なルールについてまとめる。 ・発表した内容を基に、次時のルールを決めて本時と同じ流れで学習することを伝える。	・チームでの話し合いに消極的な場面がみられた場合、同じチームの児童に声を掛け、同じチームの児童からAさんの発言を促してもらうように支援する。	・ワークシート ・筆記用具

第6時（6／6時間）

(1) 目標

- ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合おうとしている。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点（◇評価）		準備物
		基礎的環境整備	合理的配慮	
導入 8分	1 あいさつ			<ul style="list-style-type: none"> ・支柱 ・ネット ・ボール
	2 準備運動 ・体育リーダーの号令に合わせて、体を動かす。		<p>※声がけにより以下の点を意識して準備運動ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アキレス腱を伸ばす動きでは前後に開いた足が平行になるようにする。 ・肩や首回しの動きでは、ゆっくり大きく動かすようにする（必要に応じて肩に手を置く等し、動きの個所をより意識できるようにする）。 	
展開 27分	○ソフトバレーボール大会をしよう。			
	3 ルールの確認	<p><例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ゲーム6分とする ・チーム全員がボールに触ったら相手コートに返球する。 ・セッターキャッチを可とする。ただし、持って良い時間は3秒までとする。 ・相手コートに3球で返らなかった時、点数が入る。 ・点数が入らなかった方がサービスをする。 ・チーム内で守備の場所はローテーションしても、しなくてもよい。ただしサービスはチーム内で順番を決めて打つ。 		
	4 ゲーム ・1ゲーム6分、3ローテーションで行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの前にチームでの話し合いの時間を設け、動きの確認やゲーム中の声掛け（励ましや賞賛）を行うように伝える。 ・チーム全員で数を数えながらパスをつなぐように促す。 ・児童同士で声を掛け合ったり、協力してできている場面を賞賛する。また「おいしい」「ドンマイ」等失敗してもよい雰囲気作りを心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パスの高さについて「もう少し高く」「ふわっと」など、自分の取りやすい球を具体的に表現するように促す。 	
	◇ルールやマナーを守り、仲間と助け合おうとしている。（観察）			
終末 10分	7 結果発表	<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗のみならず、児童同士で工夫して取り組んでいた点やよかった声掛けなどを賞賛する。 		
	8 単元の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバレーボールの基本的なルールを知り、ボールの方向に体を向けてその方向に素早く移動したり、味方が受けやすいようにボールをつないだりする学習をしたことを振り返り、できるようになったことを賞賛する。 ・みんなでルールを考えたり、マナーを守って活動することで、楽しく運動できたことを伝える。 		
	9 あいさつ			

ソフトバレーボール 月 日()

名前()

ソフトバレーボールをやってみよう

- 1 サービス（サーブをする）とはどういうことですか。


- 2 ^{てんすう} ^{はい} 点数が入るのはどんなときですか。

- 3 ^{きょう} 今日やってみて、^{かん} むずかしいと感じたことはなんですか。



ソフトバレーボール 月 日()

名前()


仲間とパスをつないで、ゲームをしよう③

◆ 自分たちのチームの良いところ、もっとがんばりたいところを書きましょう。

良いところ
がんばりたいところ

◆ チームの良さやがんばりをいかして、楽しくゲームをするためのルールを選び、書きましょう。

	○	
あいて 相手のコートには	かい かえ 3回で返す	
	かい すく かえ 3回より少なくとも、返してよい	
	その他 ()	
ボールキャッチは	なし	
	レシーブキャッチ、トスキャッチどちらもあり	
	あり	
	レシーブキャッチだけあり	
	トスキャッチだけあり	
その他、必要なルールやマナーがあれば書きましょう。		

◆ 振り返り (がんばったことやできるようになったこと、わかったこと、次の時間がんばりたいこと)

【資料 11】実践 2 の授業の形成的評価票（児童）

高橋健夫「体育授業を観察評価する 授業改善のためのオーセンティック・アセスメント」（2003）

じゆぎょう ちようさ
授業についての調査

年 組 番 名前 _____

きょう じゆぎょう しつもん おも
◎今日の体育の授業について質問します。したの①～⑨について、あなたはどのように思いましたか。
あ
当てはまるものに○をつけてください。

- 1 ふかくこころ のこ かんどう
深く心に残ることや、感動することがありましたか (はい・どちらでもない・いいえ)
- 2 じゆぎょう うんどう さくせん
今までできなかったこと（運動や作戦）ができるようになりましたか (はい・どちらでもない・いいえ)
- 3 「あっ、わかった！」とか「あっ、そうか」と思ったことはありませんか (はい・どちらでもない・いいえ)
- 4 せい いっぱい ぜんりょく うんどう
せい いっぱい、全力をつくして運動することができましたか (はい・どちらでもない・いいえ)
- 5 たの
楽しかったですか (はい・どちらでもない・いいえ)
- 6 じぶん すず がくしゅう
自分から進んで学習することができましたか (はい・どちらでもない・いいえ)
- 7 じぶん なんかい れんしゅう
自分のめあてにむかって何回も練習できましたか (はい・どちらでもない・いいえ)
- 8 とも きょうりょく がくしゅう
友だちと協力して、なかよく学習できましたか (はい・どちらでもない・いいえ)
- 9 とも おし たす
友だちとおたがいに教えたり、助けたりしましたか (はい・どちらでもない・いいえ)

した しつもん
◎下の質問について、「はい」か「いいえ」に○をつけ、「はい」に○をつけた人は、

「それはどんなことだったか」こたえてください

- 10 きょう たいいく じゆぎょう せんせい こえ
今日の体育の授業で、先生に声をかけてもらいましたか (はい・いいえ)

◆ それはどんなことでしたか

〔

☆ それは役に立ちましたか (はい・どちらでもない・いいえ)

- 11 きょう たいいく じゆぎょう とも こえ
今日の体育の授業で、友だちに声をかけてもらいましたか (はい・いいえ)

◆ それはどんなことでしたか

〔

☆ それは役に立ちましたか (はい・どちらでもない・いいえ)

【資料 12】実践 2 の授業の形成的評価結果（児童）

「はい」 3 点、「どちらでもない」 2 点、「いいえ」 1 点とし、平均を求めたものである。

<第 1 時>

次元	項目	はい (人)	どちらでもない (人)	いいえ (人)	平均※
成果	1 深く心に残ることや、感動することがありましたか	8	16	2	2.23
	2 今までできなかったこと（運動や作戦）ができるようになりましたか	19	4	3	2.62
	3 「あっ、わかった！」とか「あっ、そうか」と思ったことはありましたか	24	2	0	2.92
関心意欲	4 せいっぱい、全力をつくして運動することができましたか	24	2	0	2.92
	5 楽しかったですか	23	3	0	2.88
学び方	6 自分から進んで学習することができましたか	21	3	2	2.73
	7 自分のめあてにむかって何回も練習できましたか	25	1	0	2.96
協力	8 友だちと協力して、なかよく学習できましたか	26	0	0	3.00
	9 友だちとおたがいに教えたり、助けたりしましたか	26	0	0	3.00
	10 今日の体育の授業で、先生に声をかけてもらいましたか	7		19	
	11 今日の体育の授業で、友だちに声をかけてもらいましたか	24		2	

<第 2 時>

次元	項目	はい (人)	どちらでもない (人)	いいえ (人)	平均
成果	1 深く心に残ることや、感動することがありましたか	13	11	1	2.48
	2 今までできなかったこと（運動や作戦）ができるようになりましたか	25	0	0	3.00
	3 「あっ、わかった！」とか「あっ、そうか」と思ったことはありましたか	23	2	0	2.92
関心意欲	4 せいっぱい、全力をつくして運動することができましたか	25	0	0	3.00
	5 楽しかったですか	24	1	0	2.96
学び方	6 自分から進んで学習することができましたか	23	2	0	2.92
	7 自分のめあてにむかって何回も練習できましたか	24	1	0	2.96
協力	8 友だちと協力して、なかよく学習できましたか	24	1	0	2.96
	9 友だちとおたがいに教えたり、助けたりしましたか	23	1	1	2.88
	10 今日の体育の授業で、先生に声をかけてもらいましたか	9		16	
	11 今日の体育の授業で、友だちに声をかけてもらいましたか	18		7	

<第3時>

次元	項目	はい (人)	どちらでもない (人)	いいえ (人)	平均
成果	1 深く心に残ることや、感動することがありましたか	17	8	1	2.62
	2 今までできなかったこと（運動や作戦）ができるようになりましたか	24	1	1	2.88
	3 「あっ、わかった！」とか「あっ、そうか」と思ったことはありましたか	23	3	0	2.88
関心意欲	4 せいっぱい、全力をつくして運動することができましたか	26	0	0	3.00
	5 楽しかったですか	25	1	0	2.96
学び方	6 自分から進んで学習することができましたか	24	2	0	2.92
	7 自分のめあてにむかって何回も練習できましたか	24	1	1	2.88
協力	8 友だちと協力して、なかよく学習できましたか	26	0	0	3.00
	9 友だちとおたがいに教えたり、助けたりしましたか	25	1	0	2.96
	10 今日の体育の授業で、先生に声をかけてもらいましたか	8		18	
	11 今日の体育の授業で、友だちに声をかけてもらいましたか	13		13	

<第4時>

次元	項目	はい (人)	どちらでもない (人)	いいえ (人)	平均
成果	1 深く心に残ることや、感動することがありましたか	4	17	4	2.00
	2 今までできなかったこと（運動や作戦）ができるようになりましたか	24	1	0	2.96
	3 「あっ、わかった！」とか「あっ、そうか」と思ったことはありましたか	23	2	0	2.92
関心意欲	4 せいっぱい、全力をつくして運動することができましたか	25	0	0	3.00
	5 楽しかったですか	24	1	0	2.96
学び方	6 自分から進んで学習することができましたか	24	0	1	2.92
	7 自分のめあてにむかって何回も練習できましたか	21	3	1	2.80
協力	8 友だちと協力して、なかよく学習できましたか	25	0	0	3.00
	9 友だちとおたがいに教えたり、助けたりしましたか	25	0	0	3.00
	10 今日の体育の授業で、先生に声をかけてもらいましたか	4		20	
	11 今日の体育の授業で、友だちに声をかけてもらいましたか	22		3	

※項目 10 は未回答児童 1 名あり

<第5時>

次元	項目	はい (人)	どちらでもない (人)	いいえ (人)	平均
成果	1 深く心に残ることや、感動することがありましたか	7	14	4	2.12
	2 今までできなかったこと（運動や作戦）ができるようになりましたか	20	3	2	2.72
	3 「あっ、わかった!」とか「あっ、そうか」と思ったことはありましたか	22	1	2	2.8
関心意欲	4 せいっぱい、全力をつくして運動することができましたか	23	1	1	2.88
	5 楽しかったですか	22	2	1	2.84
学び方	6 自分から進んで学習することができましたか	23	1	1	2.88
	7 自分のめあてにむかって何回も練習できましたか	23	2	0	2.92
協力	8 友だちと協力して、なかよく学習できましたか	23	1	1	2.88
	9 友だちとおたがいに教えたり、助けたりしましたか	23	2	0	2.92
	10 今日の体育の授業で、先生に声をかけてもらいましたか	13		12	
	11 今日の体育の授業で、友だちに声をかけてもらいましたか	25		0	

<第6時>

次元	項目	はい (人)	どちらでもない (人)	いいえ (人)	平均
成果	1 深く心に残ることや、感動することがありましたか	11	10	4	2.28
	2 今までできなかったこと（運動や作戦）ができるようになりましたか	24	1	0	2.96
	3 「あっ、わかった!」とか「あっ、そうか」と思ったことはありましたか	23	2	0	2.92
関心意欲	4 せいっぱい、全力をつくして運動することができましたか	24	1	0	2.96
	5 楽しかったですか	25	0	0	3.00
学び方	6 自分から進んで学習することができましたか	23	2	0	2.92
	7 自分のめあてにむかって何回も練習できましたか	24	1	0	2.96
協力	8 友だちと協力して、なかよく学習できましたか	25	0	0	3.00
	9 友だちとおたがいに教えたり、助けたりしましたか	24	1	0	2.96
	10 今日の体育の授業で、先生に声をかけてもらいましたか	10		11	
	11 今日の体育の授業で、友だちに声をかけてもらいましたか	25		0	

※項目 10 は未回答児童 4 名あり

<全時間の平均>

次元	項目	時間						平均
		第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時	
成果	1 深く心に残ることや、感動することがありましたか	2.23	2.48	2.62	2.00	2.12	2.28	2.29
	2 今までできなかったこと（運動や作戦）ができるようになりましたか	2.62	3.00	2.88	2.96	2.72	2.96	2.86
	3 「あっ、わかった!」とか「あっ、そうか」と思ったことはありましたか	2.92	2.92	2.88	2.92	2.80	2.92	2.89
	次元の平均	2.59	2.80	2.79	2.63	2.55	2.72	2.68
	次元の評定	4	5	5	4	4	5	4
関心意欲	4 せいっぱい、全力をつくして運動することができましたか	2.92	3.00	3.00	3.00	2.88	2.96	2.96
	5 楽しかったですか	2.88	2.96	2.96	2.96	2.84	3.00	2.93
	次元の平均	2.90	2.98	2.98	2.98	2.86	2.98	2.95
	次元の評定	4	4	4	4	4	4	4
学び方	6 自分から進んで学習することができましたか	2.73	2.92	2.92	2.92	2.88	2.92	2.88
	7 自分のめあてにむかって何回も練習できましたか	2.96	2.96	2.88	2.80	2.92	2.96	2.91
	次元の平均	2.85	2.94	2.90	2.86	2.90	2.94	2.90
	次元の評定	5	5	5	5	5	5	5
協力	8 友だちと協力して、なかよく学習できましたか	3.00	2.96	3.00	3.00	2.88	3.00	2.97
	9 友だちとおたがいに教えたり、助けたりしましたか	3.00	2.88	2.96	3.00	2.92	2.96	2.95
	次元の平均	3.00	2.92	2.98	3.00	2.90	2.98	2.96
	次元の評定	5	5	5	5	5	5	5
総合	平均	2.81	2.90	2.90	2.84	2.77	2.88	2.85
	評定	5	5	5	5	5	5	5

《参考；形成的授業評価の診断基準》

高橋健夫「体育授業を観察評価する 授業改善のためのオーセンティック・アセスメント」
(2003)、p.164 より転記

次元	項目	評定				
		5	4	3	2	1
成果	1. 感動の体験	3.00～2.62	2.61～2.29	2.28～1.90	1.89～1.57	1.56～1.00
	2. 技能の伸び	3.00～2.82	2.81～2.54	2.53～2.21	2.20～1.93	1.92～1.00
	3. 新しい発見	3.00～2.85	2.84～2.59	2.58～2.28	2.27～2.02	2.01～1.00
	次元の評価	3.00～2.70	2.69～2.45	2.44～2.15	2.14～1.91	1.90～1.00
意欲関心	4. 精一杯の運動	3.00	2.99～2.80	2.79～2.56	2.55～2.37	2.36～1.00
	5. 楽しさの体験	3.00	2.99～2.85	2.84～2.60	2.59～2.39	2.38～1.00
	次元の評価	3.00	2.99～2.81	2.80～2.59	2.58～2.41	2.40～1.00
学び方	6. 自主的学習	3.00～2.77	2.76～2.52	2.51～2.23	2.22～1.99	1.98～1.00
	7. めあてをもった学習	3.00～2.94	2.93～2.65	2.64～2.31	2.30～2.03	2.02～1.00
	次元の評価	3.00～2.81	2.80～2.57	2.56～2.29	2.28～2.05	2.04～1.00
協力	8. なかよく学習	3.00～2.92	2.91～2.71	2.70～2.46	2.45～2.25	2.24～1.00
	9. 協力的学習	3.00～2.83	2.82～2.55	2.54～2.24	2.23～1.97	1.96～1.00
	次元の評価	3.00～2.85	2.84～2.62	2.61～2.36	2.35～2.13	2.12～1.00
総合評価（総平均）		3.00～2.77	2.76～2.58	2.57～2.34	2.33～2.15	2.14～1.00

学年		学級	通常・特支（知・情・肢体）	氏名	
----	--	----	---------------	----	--

1 本時の児童の様子について、お聞きします。

(1) -① 通常の学級の児童と特別支援学級の児童が共に学ぶための環境整備が適切に行われていましたか

- | | |
|----------------|------------------|
| ア 完全に当てはまる | イ かなり当てはまる |
| ウ どちらかという当てはまる | エ どちらかという当てはまらない |
| オ かなり当てはまらない | カ 全く当てはまらない |

(1) -② ①の理由をお書きください

(2) -① 障がいのある児童にとって、合理的配慮が適切に行われていましたか

- | | |
|----------------|------------------|
| ア 完全に当てはまる | イ かなり当てはまる |
| ウ どちらかという当てはまる | エ どちらかという当てはまらない |
| オ かなり当てはまらない | カ 全く当てはまらない |

(2) -② ①の理由をお書きください

(裏面もご記入ください)

3 児童の様子についてお尋ねします。授業を参観して、以下の点についてどのように感じましたか。当てはまるものに ○ をお書きください。

		完全に 当てはま る	かなり 当てはま る	どちらか という 当てはま る	どちらか という 当てはま らない	かなり 当てはま らない	全く 当てはま らない
1	自分の良さや可能性に気づいている						
2	自分の良さや可能性を発揮している						
3	他者の良さや可能性に気づいている						
4	様々な考え方や感じ方があることに気づいている						
5	様々な考え方や感じ方があることを受け入れている						
6	様々な問題に対して、一緒に課題の解決方法を考えている						
7	決められたことに対して、協力して取り組んでいる						
8	目標を持って、学習に取り組んでいる						

4 教員の課題についてお尋ねします。授業参観をして、以下の点についてどのように感じましたか。当てはまるものに ○ をお書きください。

		完全に 当てはま る	かなり 当てはま る	どちらか という 当てはま る	どちらか という 当てはま らない	かなり 当てはま らない	全く 当てはま らない
1	児童の困難さに対する理解に課題がある						
2	児童の困難さに対する手だてに課題がある						
3	通常の学級と特別支援学級の教員の情報共有に課題がある						
4	困難さを抱える児童の、その時間の学習の目標の明確化に課題がある						
5	通常の学級における環境整備に課題がある						
6	通常の学級における障がい理解教育に課題がある						
7	その他（自由にお書きください）						

ご協力ありがとうございました。